

様式第一号

法人名 社会医療法人財団大樹会

医療法人番号

所在地 香川県坂出市室町三丁目5番28号

貸借対照表
(令和4年7月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	2,481,882	I 流動負債	2,599,432
現金及び預金	554,530	買掛金	278,635
事業未収金	1,105,020	短期借入金	1,320,000
有価証券	700,000	1年以内返済予定長期借入金	374,823
たな卸資産	75,932	リース債務	18,492
前払費用	1,710	未払費用	321,641
未収入金	67,387	預り金	132,800
貸倒引当金	△ 23,805	賞与引当金	138,176
その他の流動資産	1,108	未払法人税等	80
II 固定資産	6,206,930	未払消費税等	888
1 有形固定資産	5,708,324	その他の流動負債	13,897
建物	3,405,861	II 固定負債	2,394,483
構築物	228,212	長期借入金	1,402,441
医療用器械備品	177,196	長期リース債務	75,039
その他の器械備品	67,258	退職給付引当金	774,763
車両運搬具	826	役員退職慰労引当金	141,240
リース資産	93,299	預り敷金	1,000
土地	1,729,996		
その他の有形固定資産	5,676		
2 無形固定資産	256,174	負債合計	4,993,915
借地権	7,752		
ソフトウェア	247,217	純資産の部	
その他の無形固定資産	1,205	科目	金額
3 その他の資産	242,432	I 積立金	3,702,660
有価証券	193,144	代替基金	44,983
長期貸付金	2,010	別途積立金	3,900,000
長期前払費用	4,221	繰越利益積立金	△ 242,323
差入保証金	11,585	II 評価・換算差額等	△ 7,763
保険積立金	30,409	その他有価証券評価差額金	△ 7,763
その他の固定資産	1,063		
資産合計	8,688,812	純資産合計	3,694,897
		負債・純資産合計	8,688,812

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式第二号

法人名 社会医療法人財団大樹会

医療法人番号

所在地 香川県坂出市室町三丁目5番28号

損 益 計 算 書

(自 令和3年8月1日 至 令和4年7月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		6,925,519
2 事業費用		
(1)事業費	7,010,480	
(2)本部費	-	7,010,480
本来業務事業損失		84,961
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		7,523
2 事業費用		5,170
附帯業務事業利益		2,353
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		4,439
2 事業費用		-
収益業務事業利益		4,439
事業損失		78,169
II 事業外収益		
受取利息及び配当金	3,591	
その他の事業外収益	-	3,591
III 事業外費用		
支払利息	8,568	
その他の事業外費用	-	8,568
経常損失		83,146
IV 特別利益		
固定資産売却益	-	
その他の特別利益	18,881	18,881
V 特別損失		
固定資産売却損	-	
固定資産除却損	62	
有価証券評価損	-	62
税引前当期純損失		64,327
法人税・住民税及び事業税		80
当期純損失		64,407

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
 2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項
該当なし

2 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

満期保有目的の債券
償却原価法(定額法)

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

② たな卸資産

最終仕入原価法

3 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっております。但し、平成10年4月以降に取得した建物(建物付属設備を除く)については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

建物	3年～39年
構築物	8年～50年
医療用器械備品	4年～15年
その他の器械備品	3年～20年
車両運搬具	2年～6年

② 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

4 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法における貸倒引当金の繰入限度額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

役職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。

③ 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務を簡便法(退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法)により計算し、計上しております。

④ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、規程に基づく期末要支給額を計上しております。

5 補助金等の会計処理

固定資産を購入する目的で受取った補助金等については、受取った会計年度に一括して収益として計上しております。

6 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

7 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

該当なし

8 重要な会計方針を変更した旨等

該当なし

9 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

(1) 資産及び負債のうち、収益業務に係るもの

	金額(千円)
資産	765,143
負債	76,062

(2) 収益業務からの繰入金の状況に関する事項

	前期末残高 (千円)	当期繰入額 (千円)	当期元入額 (千円)	当期末残高 (千円)
繰入純額	△792,795	-	-	△792,795

10 担保に供されている資産に関する事項

(1) 担保に供している資産

科目	金額(千円)
建物	3,099,363
土地	1,621,320
計	4,720,683

(2) 担保に係る債務

科目	金額(千円)
1年以内返済予定長期借入金	374,823
長期借入金	1,402,441
合計	1,777,264

11 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業 内容	関係事業者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当 なし									

取引条件及び取引条件の決定方針等

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者と関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

取引条件及び取引条件の決定方針等

12 重要な偶発債務に関する事項
該当なし

13 重要な後発事象に関する事項
該当なし

14 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1)有形固定資産の減価償却累計額

科目	減価償却累計額(千円)
建物	4,842,666
構築物	451,865
医療用器械備品	2,728,596
その他の器械備品	590,393
車両運搬具	32,246
リース資産	33,111

(2)補助金等の内訳、交付者及び貸借対照表等への影響額

内訳	交付者	補助金計上額	貸借対照表計上額
コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金	香川県	103,557	—
コロナ空床補償料	香川県	30,953	—
身体合併症拠点病院整備事業	香川県	14,894	—
かがわ医療情報ネットワーク整備事業補助金	香川県	11,990	11,990
その他	香川県他	92,311	6,891
合計		253,705	18,881

なお、これらの補助金は、損益計算書上、運営費補助金収益が234,724千円および施設整備補助金収益(その他の特別利益)18,881千円に計上しております。